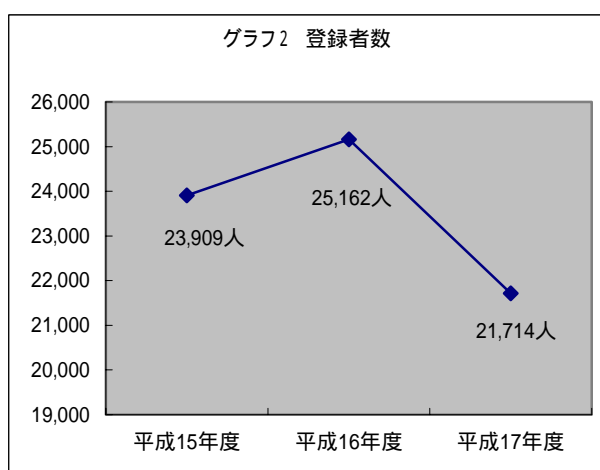
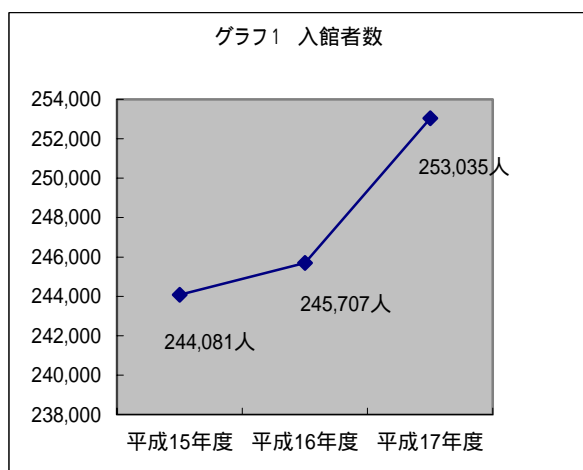


# 福島県立図書館の利用状況の推移

平成15(2003)年度から平成17(2005)年度にかけての図書館の個人利用状況の変化について報告します。

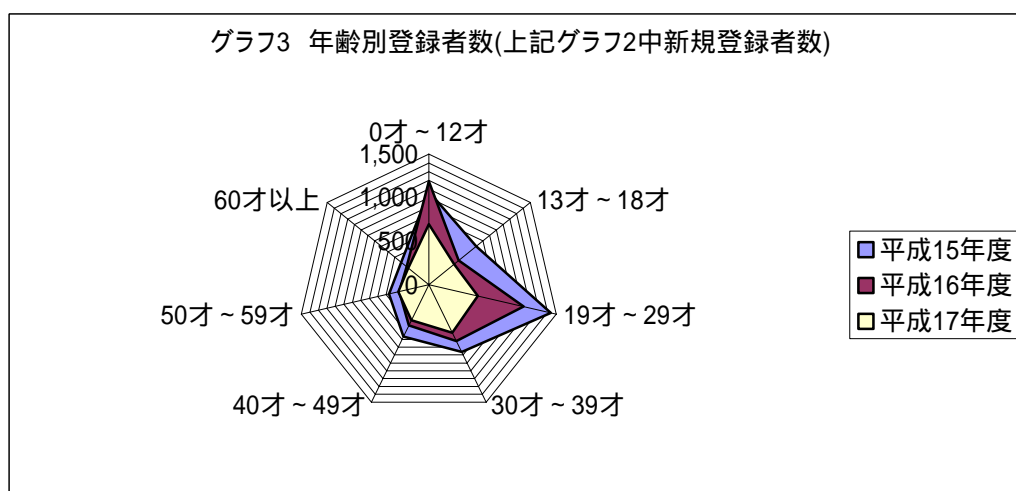
## 1. 入館者の増加と登録者の減少

入館者が増えているにもかかわらず、登録者(図書館利用カードを作る人)が減少しています。これは、図書館に本を借りる以外の目的で来館している人が増えていることをあらわしています。事典類や新聞などの貸出していない資料の利用や調査相談、インターネットの利用、研修会等のイベントへの参加など、さまざまな目的で利用されていることがうかがえます。



## 2. 年齢別登録者数

年齢別登録者を、小学生まで(0才~12才)、中学生から高校生の年代(13才~18才)、19才~29才、30才~39才、40才~49才、50才~59才、60才以上で分けたのがグラフ3です。小学生までの子どもと19才~29才までの登録者が多いことがわかります。



小学生が自分で行動できる距離を学区内とすると、0才～12才までの登録者は、福島市内に住んでいる子どもか、大人と一緒に来館した子どもだと考えられます。小学生くらいまでの子どもの親世代である19才～39才の利用の登録者も多いことがわかります。

### 3. 地域別利用状況

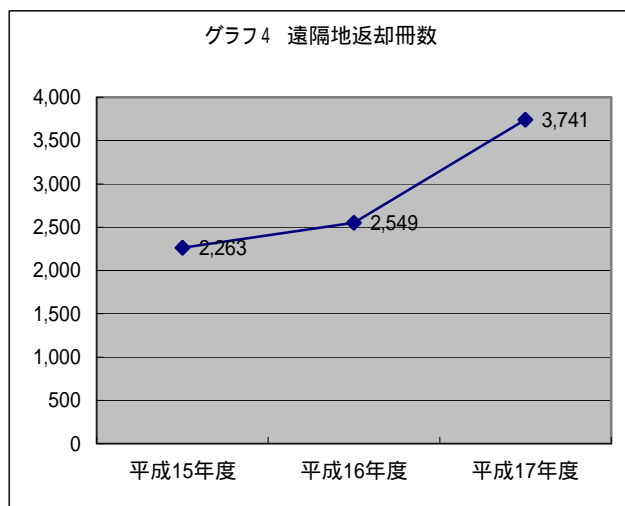
地域ごとの登録者数は県北地区が圧倒的に多く、19,546人です。その中でも、県立図書館のある福島市の登録者は16,843人で、全体の80%を占めています。

地区別登録者数

県北	19,546人	92.8%
県中	600人	2.8%
県南	79人	0.4%
会津	237人	1.1%
南会津	20人	0.1%
相双	181人	0.9%
いわき	96人	0.4%
その他	311人	1.5%
合計	21,070人	100%

(平成18年5月24日現在)

グラフ4 遠隔地返却冊数

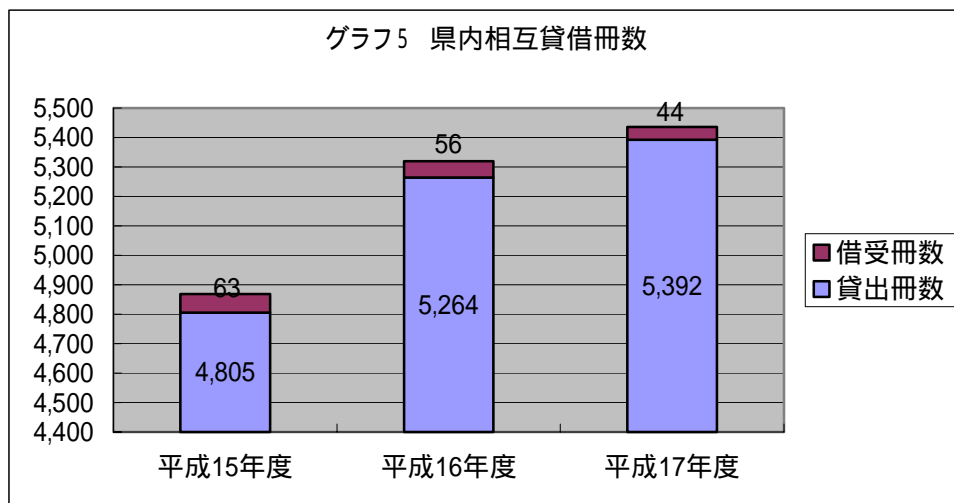


また、県立図書館で借りた本や雑誌を、最寄の公立図書館で返すことができる、遠隔地返却の制度を利用している人が急激に増えています。

図書館には、最寄の図書館に探している本や雑誌がない場合、所蔵している図書館から借り受けて利用することができる相互貸借制度があります。グラフ5「県内相互貸借冊数」は、県内の公立図書館、学校図書館、公民館図書室との貸出・借受の冊数です。

図書館や公民館を窓口として県立図書館の本や雑誌を利用する冊数で増加しています。

グラフ5 県内相互貸借冊数



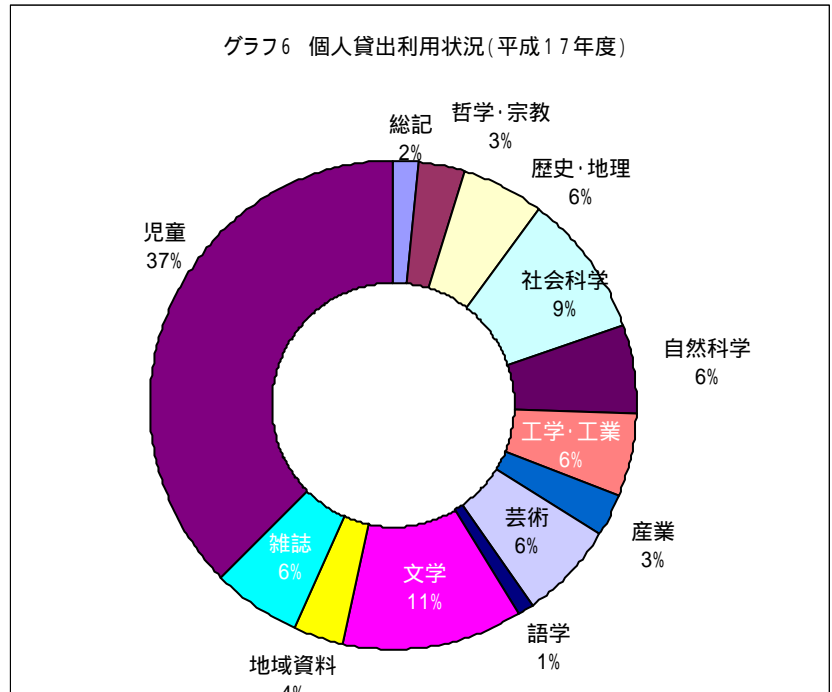
県立図書館は、全県サービスを行っています。県民全ての図書館として、遠隔地の方々にも利用していただけるよう更にサービスを充実させていかなければならないと考えます。

#### 4. 資料別貸出状況

資料の分野別利用状況の割合がグラフ6：個人貸出利用状況になります。児童書の貸出が多く、全体の37%を占めています。また、文学の貸出は全体の11%であり、児童書の次に多くなっていますが、ビジネス関係資料を含む社会科学，工学・工業，産業を合わせると18%となり、文学より仕事に必要な資料のニーズが多いことがわかります。

平成17年度個人貸出冊数

分類別	冊数	構成比(%)
総記	2,624	1.6
哲学・宗教	5,252	3.2
歴史・地理	8,956	5.5
社会科学	15,283	9.3
自然科学	9,773	5.9
工学・工業	9,257	5.6
産業	4,809	2.9
芸術	10,160	6.2
語学	2,021	1.2
文学	19,645	11.9
地域資料	5,760	3.5
雑誌	9,298	5.7
小計	102,838	62.5
児童	61,701	37.5
合計	164,539	100.0



分類別貸出割合の推移によると、3年連続貸出割合が増えているのは社会科学と雑誌です。

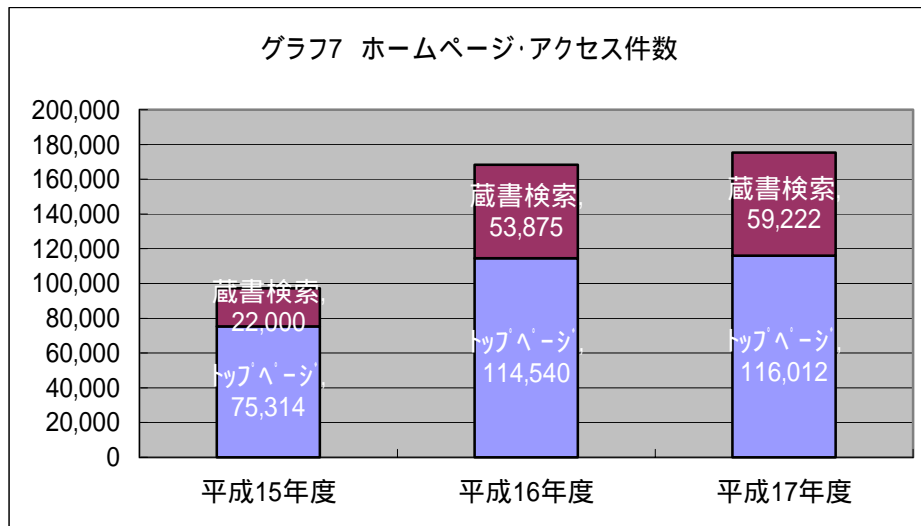
社会科学は、政治、法律、経済、統計、社会問題、教育など、社会生活を営む上で役立つ情報源となる本です。

分類別貸出割合の推移

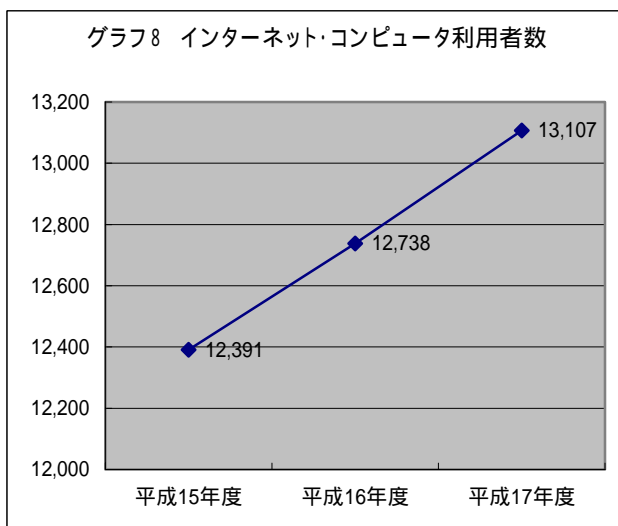
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
総記	2.0	1.6	1.6
哲学・宗教	3.2	3.1	3.2
歴史・地理	5.1	4.9	5.5
社会科学	9.0	9.1	9.3
自然科学	6.4	6.1	5.9
工学・工業	6.4	5.7	5.6
産業	3.4	3.0	2.9
芸術	6.1	5.9	6.2
語学	1.5	1.2	1.2
文学	12.5	12.1	11.9
地域資料	3.0	2.9	3.5
雑誌	4.7	4.8	5.7
児童	36.7	39.6	37.5

## 5. インターネットの図書館情報利用

県立図書館のホームページへのアクセス件数は年々増加しています。トップページの次にアクセス件数が多いのは蔵書検索のサイトです。図書館の閉館時でも利用できるホームページの情報は、遠隔地にお住まいの方など、なかなか図書館に来館できない方にも利用していただけます。ホームページでは、図書館で所蔵している本、雑誌、新聞を確認することができるだけでなく、デジタルライブラリーというサイトで、デジタル化した貴重資料を閲覧できます。



平成17年9月からは、ネットサービスをはじめ、ホームページから貸出中の本の予約や、借りている本の確認ができるようになりました。(県立図書館でネットサービスの登録をすることが必要です)



図書館にある8台(内子ども用2台)のインターネット・コンピュータ利用者数は、年々増加しています。また、ノートパソコンを図書館に持ち込み利用される方も増えています。県立図書館では、パソコン充電のためのソケットを用意しています。

インターネットやパソコンを利用しながら、図書館の本や雑誌を調べる方が多数見られるようになりました。

この数年、家庭でのインターネット接続の増加や携帯電話の普及など、情報環境が大きく変化しました。県立図書館は、今後、情報通信技術の発達と普及に合わせてサービスを展開し、県民のみなさまの情報へのニーズに応えていきたいと考えています。